

ホームドクター

658

“早期発見・早期治療”のために 検診・健診を受けましょう

がん検診を受けていますか？

日本人のおよそ2人に1人が生涯のうちに何らかのがんになる可能性があると言われていますが、早期発見・早期治療による5年後の生存率は90%以上とも言われています。

胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がんの5つのがんは、検診を受けることで早期に発見でき、さらに治療を行うことで死亡率が低下することが科学的に証明されており、国が推奨している5大がん検診です。例えば、大腸がん検診を受けた人の死亡リスクは、受診しなかった人に比べて、半分以下になります。

越谷市では6カ月間にわたりがん検診が実施されています(詳しい実施期間は市ホームページで確認できます)。胃がん検診は40歳以上(胃内視鏡検査または胃部X線検査)、大腸がん検診は40歳以上(便潜血検査)、肺がん検診は40歳以上(胸部X線検査)、乳がん検診は35歳以上の女性を対象に2年に1度実施(マンモグラフィ検査は必須、視触診は選択制)、子宮頸がん検診は20歳以上(細胞診検査)が対象となっ



越谷市医師会
駅ビル医院「せんげん台」
☎978-1113
しゅうとう ひろあき
周東 宏晃

ています。初期のがんはほとんど症状がなく、気づきにいくため、定期的にがん検診を受けて早期発見・早期治療を心がけましょう。

また、特定健診や肝炎ウイルス検診なども重要です。

特定健診では肝臓の機能や生活習慣病の有無などを調べることができます。生活習慣病である高血圧症、脂質異常症、糖尿病を放置すると、動脈硬化が進み心筋梗塞や脳卒中といった命に関わる病気につながるリスクがあります。

肝炎ウイルス検診ではB型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスに感染していないかを調べられます。B型肝炎、C型肝炎ウイルスは感染すると慢性肝炎になりやすく、進行すると肝硬変や肝がんを発症してしまう場合があります。近年は感染防止対策やスクリーニングの徹底、肝炎の治療が進歩していることから感染者数は減少しているものの、検査を受けたことのない方は必ず一度は感染していないか調べてみましょう。

その一方で、アルコール性や脂肪肝が原因

の肝障害の割合は増加しています。

特にアルコール性ではなく、肥満や生活習慣病を背景としたMASLD(代謝機能障害関連脂肪性肝疾患)が注目されています。MASLDの中でも、脂肪の蓄積だけでなく、肝臓が硬くなってしまう線維化や慢性炎症がある状態をMASH(代謝機能障害関連脂肪肝炎)と言います。MASHは、MASLDに見られる心血管系の病気などのリスクに加えて、肝硬変や肝がんをきたす恐れがあります。肥満症やMASHは生活習慣病の一つとして近年非常に注目されており、治療薬も出てきました。治療の必要性や適応がある状態なのか、採血検査で異常があれば腹部超音波検査などでの精密検査をお勧めします。

生活習慣病の多くは、肥満を基盤として発症・進行します。その場合、減量することが治療として非常に重要です。しかし、栄養不足、運動不足、加齢といった影響で起きてくるサルコペニアやフレイルといった状態では、むしろ体重を増やした方がよいこともあります。減量をするだけでなく、きちんと自分の体の状態を把握し、適切な治療を受けることが大切です。

ぜひ検診・健診を利用して自分の体の状況を確認し、健康寿命を長くするための生活を意識するきっかけにしてもらえたらと思います。

健(検)診・相談

🐼お気軽に「食生活なんでも相談」

▶日時：9月18日(金)9:00～12:00

▶内容：栄養士による個別相談

▶対象：市内在住の方3人

▶申込み：電子申請(☎8690)、電話



🐼歯科健診・相談～歯つつつ！ お口の健康～

▶日時：9月30日(水)13:30～15:00

▶対象：市内在住の方20人

▶申込み：電子申請(☎8654)、電話



*治療は行いません

🐼令和8年度乳がん検診

▶期間・内容：▷集団検診(マンモグラフィ検査)…9月27日(日)まで ▷施設検診(視触診(選択制)とマンモグラフィ検査)…11月10日(火)まで

▶会場：実施医療機関(こしがや保健ガイド、市ホームページ(☎8663)を参照)

▶対象：年度年齢35歳以上の女性で、偶数月生まれの方、奇数月生まれで昨年度未受診の方

▶費用：1,500円

▶申込み：▷集団検診…電子申請

▷施設検診…事前に実施医療機関へ



🐼がん検診無料クーポン券による子宮頸がん検診・乳がん検診

▶送付時期：6月末

▶実施期間：▷子宮頸がん検診…11月30日(月)まで ▷乳がん検診…集団検診は9月27日(日)まで、施設検診は11月30日(月)まで

*実施期間終了間際は大変混み合います。早めにご受診ください。詳しくは(☎8660)

🐼歯周病検診～全身の健康はお口から～

▶期間：令和9年2月15日(月)まで

▶会場：実施歯科医療機関(こしがや保健ガイド、市ホームページ(☎8656)、受診券を参照)

▶内容：検診・指導。治療は行いません

▶対象：令和8年4月1日～9年3月31日に20・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳になる方(対象の方に受診券を送付しています)

▶費用：500円

▶申込み：事前に実施歯科医療機関へ予約

薬剤師に直接相談



くすりの相談日

10/6(火)13:00～16:00

開催日の1週間前までに電話で下記へ

☎越谷市薬剤師会事務局(保健センター3階)☎960-4100



高齢者インフルエンザ 定期予防接種のお知らせ

高齢者インフルエンザ定期予防接種は、今年も例年通り10月から開始予定です。なお、「こしがや保健ガイド」等でご案内していた「高用量インフルエンザワクチン」については、製造販売業者による国内製造工程での技術的な課題から、令和8年度の定期接種での使用は見送られることとなりました。皆さんのご理解をお願いします。

☎健康づくり推進課☎960-1100、☎865773

健康情報コラム

あさか ようすけ
越谷市歯科医師会 浅香 陽介

口腔がんについて 知っていますか



ふだん何気なく行っている食生活は、皆さんが日々元気に暮らすために重要なのもちろんのこと、日常生活に楽しみを与えてくれます。それは健康なお口があればこそ。それが口腔がんによって奪われてしまったら…。

口腔がんとは、口の中にできる「がん」の総称で、舌や歯ぐき、頬の内側、口の底などに発生します。日本では年々口腔がんと診断される患者さんが増えており、誰にでも起こる可能性があります。喫煙や飲酒の習慣がある方、口の中の合わない入れ歯や尖った歯、歯のぐらつきなどの慢性的な刺激がある方は特に注意が必要です。

口腔がんは、早期に発見して治療を始めることで、治る可能性が高くなります。しかし、初期は痛みなどの自覚症状が少なく、「口内炎だと思っていた」「なかなか治らない傷だと思っていた」というケースもあります。そのまま放っておくと食べ物をかむ、飲み込むといった動作がしづらくなったり、発音することが思いどおりにならなくなってきました。2週間以上治らない口内炎や口の中の傷、しこり、腫れ、出血、赤や白などの色の変化、舌の動かしにくさなどがある場合は、早めに歯科医院や医療機関を受診しましょう。

口腔がんの早期発見には、日頃から鏡で自分の口の中を観察することに加え、専門家による検診が大切です。また、越谷市では40歳以上の方は年1回「口腔がん検診」を受けることができます。身体の入口であるお口の健康を維持することが身体全体の健康につながります。「自分は大丈夫」と思わず、定期的な歯科医院の受診と口腔がん検診を通じて、いつまでも健康なお口、元気な身体を保ちましょう。